

# あいあいきっず

病児保育



令和 2 年 6 月号

色とりどりの紫陽花に梅雨の訪れを感じる時期となりました。園生活も3カ月を過ぎ、徐々に新しい環境に慣れたことと思います。

学校の再開や利用自粛が徐々に解除される中、新しい生活様式が勧められています。完璧に実施する事は特に小さい子供には難しいかと思えます。前月号に掲載した子供のマスク着用ですが、日本小児科医会より2才未満はリスクが大きい為推奨しないとの事。



厚生労働省  
新しい生活様式



2歳以下の  
マスク注意

これから気温も上昇し、熱中症にも注意が必要になります。まず、出来る事から行いたいですね。

当施設でも感染症ガイドライン等を通して、基本的な感染症予防対策を続けております。困った事があれば、引き続き電話相談も行っていますのでお問い合わせ下さい。

県内でも風疹患者が発生しています

風疹は発熱・発疹・リンパ節腫脹を特徴とするウイルス性発疹症で、症状が現れないものから重篤な合併症併発等幅広くあります。

風疹は感染力が強く、20～40代の男性に感染者が多いようです。妊婦さんが感染すると赤ちゃんの目や耳・心臓に障害が起こることがあります(先天性風疹症候群)

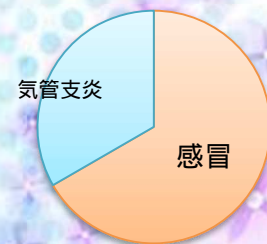
自分自身だけではなく、周りの妊婦さんと家族を守るため、社会全体で風疹予防に取り組む必要があり、自治体が行う抗体検査やワクチンが対象者に勧められています



## 鹿児島県感染症情報

2020年	(報告週)	第23週		
定点種別	定点報告疾患	報告数	定点当り	累積報告数 (2020年)
インフルエンザ定点 (内科・小児科定点)	インフルエンザ	-	-	11,143
小児科定点	○咽頭結膜熱	36	0.68	1,158
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	81	1.53	2,515
	○感染性胃腸炎	190	3.58	7,316
	水痘	2	0.04	375
	○手足口病	15	0.28	335
	伝染性紅斑	2	0.04	456
	○突発性発しん	44	0.83	547
	○ヘルパンギーナ	20	0.38	73
	○流行性耳下腺炎	8	0.15	90
	RSウイルス感染症	-	-	274
	眼科定点	急性出血性結膜炎	-	-
○流行性角結膜炎		2	0.29	89
基幹定点	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	-	-	3
	無菌性髄膜炎	-	-	1
	マイコプラズマ肺炎	-	-	14
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	0.00	7
報告数合計		400	0	24,397

## 6月利用児病名割合



S37.4.2 ~ S54.4.1

生まれの男性を  
対象とする  
抗体検査とワクチン



妊婦さんやその  
家族を対象とする  
抗体検査



受付時間 7:30 ~ 20:00(月~土)

➤ 水曜日のみ当日受付不可の為、前日の火曜の20時迄となります

➤ キャンセルはなるべくご遠慮下さい

病児病後児保育 あいあいきっず

TEL 26-0404 不明点等、ご連絡下さい

本紙は厚生労働省 HP・感染症ナビほかを参考に作成しました(\*^-^\*)